

## 地域イノベーション戦略支援プログラム終了評価項目

### 国際競争力強化地域（※）

評価項目 (S～Dの5段階評価)		評価の視点
1 総合評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>総合的に判断して、大学等研究機関の地域貢献機能が強化されるとともに、海外市場の獲得も含めた出口を見据えつつ、地域の特性を活かした強みのある技術シーズの創出やそれに伴う効果が発現するなど、国際競争力強化地域として、地域イノベーション戦略の実現が期待できるものとなったか。</li> <li>(※上記の視点には、中間評価の指摘事項に対応できたかを含む。)</li> </ul>
2 地域イノベーション戦略支援プログラムの進捗	(1) 目標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>当初設定した目標に対する達成状況はどうであるか。</li> <li><b>【参考指標】</b> 特許出願件数、査読論文数等、提案地域が当初設定した目標及び達成状況</li> </ul>
	(2) 事業化	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域イノベーション戦略の期間中に海外市場獲得など、国際競争力強化地域として経済的・社会的にインパクトがある事業化がされたか。</li> <li>事業化戦略に基づき事業化の中核を担う適切な企業はいたか。また、参画する企業等が増加したか。</li> <li><b>【参考指標】</b> 特許出願・取得・実施件数（国内・海外）、試作品数、新商品数（代表的な商品）、新事業数、新企業数、本事業の成果による収入（売上、特許等実施料収入）、参画企業及び機関数、参画研究者数、本事業実施に当たって雇用した人数、参画機関リスト、地元中小企業の参画状況</li> </ul>
3 事業推進体制	(1) プロジェクトディレクター及び総合調整機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクトディレクターは、リーダーシップを発揮して出口を見据えたマネジメントを行い、事業の中心的な役割を担ったか。</li> <li>総合調整機関は、プロジェクトディレクター等の業務を十分に支援できる体制を整備したか。</li> <li><b>【参考指標】</b> (自己評価報告書の定性的な記述から)</li> </ul>
	(2) 補助事業者の構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>補助事業者は、国際競争力強化地域として、海外からのヒト・モノ・カネを惹きつける強力なポテンシャルを生かして、積極的な事業展開を図るため、適切な役割分担の下、その役割を十分に担ったか。補助事業者が円滑に連携できる体制を構築したか。</li> <li><b>【参考指標】</b> (自己評価報告書の定性的な記述から)</li> </ul>
	(3) 予算配分や研究テーマの検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>有識者による外部評価等を導入し、予算配分や研究テーマの見直しなどの検討を行ったか。</li> <li><b>【参考指標】</b> 外部評価委員会等の開催状況</li> </ul>
4 イノベーションエコシステムの形成・高度化	(1) 環境・意識の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>イノベーションの起りやすい環境が生まれたか。</li> <li>学（研究機関）が従前に比べ事業化マインドを持ったか。</li> <li>裾野人材の定着、広がりは進んだか。</li> <li><b>【参考指標】</b> (自己評価報告書の定性的な記述から)</li> </ul>
	(2) マーケティング・成果発信の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内外のマーケティングが適切に行われたか。</li> <li>国際競争力強化地域として、日本語だけではなく、外国語でも本事業の取組及び成果を地域内外に発信したか。</li> <li><b>【参考指標】</b> プレス発表の件数、成果発表会の開催回数・参加者数、国際的なシンポジウム等の開催件数・参画件数</li> </ul>
	(3) 波及効果・資金確保状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>波及効果が現れたか。</li> <li>自治体、民間企業や金融機関等からの活動資金が確保されていたか。</li> <li><b>【参考指標】</b> 掲載又は放送件数（新聞・テレビ・雑誌）、受賞件数、成果が他の事業に採択された件数、外部の団体の来訪件数、海外機関との連携数、地域資金獲得状況</li> </ul>

5 各支援メニュー	(1) 地域イノベーション戦略の中核を担う研究者の集積	<ul style="list-style-type: none"> <li>各研究開発テーマについて、目標を達成したか。</li> <li>研究テーマ間の連携やその相乗効果等により、地域の特性を活かした技術シーズが創出されたか。</li> </ul> <b>【参考指標】</b> 研究テーマリスト、提案地域が当初設定した目標及び達成状況、招へい研究者との共同研究状況
	(2) 地域イノベーション戦略実現のための人材育成プログラムの開発及び実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>人材育成プログラムについて、目標を達成したか。</li> <li>大学等研究機関、産業界及び自治体が密接に協力しながら取り組んだか。</li> </ul> <b>【参考指標】</b> 人材育成プログラム実施状況、受講者アンケートの内容
	(3) 大学等の知のネットワークの構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学等研究機関におけるコンソーシアム等の知のネットワークが構築されたか。</li> <li>コーディネータは、大学等の技術シーズの発掘や企業等と大学等研究機関とのマッチング促進など、その果たすべき役割を担ったか。</li> </ul> <b>【参考指標】</b> ネットワーク体制、企業等訪問状況、企業等と大学等研究機関とのマッチング状況
	(4) 地域の大学等研究機関での研究設備・機器等の共用化	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業利用ニーズを適切に把握し、利用促進のための取組が行われたか。</li> <li>研究設備・機器等について、中小企業等からの利用が積極的に行われたか。</li> </ul> <b>【参考指標】</b> 共用化対象の研究設備・機器等、研究設備・機器等の共用化体制・利用状況

※国際競争力強化地域

海外からヒト・モノ・カネを惹きつける強力なポテンシャルを持った地域

## 地域イノベーション戦略支援プログラム終了評価項目

### 研究機能・産業集積高度化地域（※）

評価項目 (S～Dの5段階評価)		評価の視点
1	総合評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合的に判断して、大学等研究機関の地域貢献機能が強化されるとともに、地域産業の活性化も含めた出口を見据えつつ、地域の特性を活かした強みのある技術シーズの創出やそれに伴う効果が発現するなど、研究機能・産業集積高度化地域として、地域イノベーション戦略の実現が期待できるものとなったか。</li> <li>(※上記の視点には、中間評価の指摘事項に対応できたかを含む。)</li> </ul>
2	(1) 目標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>当初設定した目標に対する達成状況はどうか。</li> <li><b>【参考指標】</b> 特許出願件数、査読論文数等、提案地域が当初設定した目標及び達成状況</li> </ul>
	(2) 事業化	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域イノベーション戦略の期間中に将来的な海外市場獲得が期待できるなど、研究機能・産業集積高度化地域として地域産業の活性化につながる事業化がされたか。</li> <li>事業化戦略に基づき事業化の中核を担う適切な企業はいたか。また、参画する企業等が増加したか。</li> <li><b>【参考指標】</b> 特許出願・取得・実施件数（国内・海外）、試作品数、新商品数（代表的な商品）、新事業数、新企業数、本事業の成果による収入（売上、特許等実施料収入）、参画企業及び機関数、参画研究者数、本事業実施に当たって雇用した人数、参画機関リスト、地元中小企業の参画状況</li> </ul>
3	(1) プロジェクトディレクター及び総合調整機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクトディレクターは、リーダーシップを発揮して出口を見据えたマネジメントを行い、事業の中心的な役割を担ったか。</li> <li>総合調整機関は、プロジェクトディレクター等の業務を十分に支援できる体制を整備したか。</li> <li><b>【参考指標】</b> (自己評価報告書の定性的な記述から)</li> </ul>
	(2) 補助事業者の構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>補助事業者は、研究機能・産業集積高度化地域として、地域の特性を生かして、積極的な事業展開を図るため、適切な役割分担の下、その役割を十分に担ったか。補助事業者が円滑に連携できる体制を構築したか。</li> <li><b>【参考指標】</b> (自己評価報告書の定性的な記述から)</li> </ul>
	(3) 予算配分や研究テーマの検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>有識者による外部評価等を導入し、予算配分や研究テーマの見直しなどの検討を行ったか。</li> <li><b>【参考指標】</b> 外部評価委員会等の開催状況</li> </ul>
4	(1) 環境・意識の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>イノベーションの起こりやすい環境が生まれたか。</li> <li>学（研究機関）が従前に比べ事業化マインドを持ったか。</li> <li>裾野人材の定着、広がりは進んだか。</li> <li><b>【参考指標】</b> (自己評価報告書の定性的な記述から)</li> </ul>
	(2) マーケティング・成果発信の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内外のマーケティングが適切に行われたか。</li> <li>研究機能・産業集積高度化地域として、本事業の取組及び成果を地域内外に発信したか。</li> <li><b>【参考指標】</b> プレス発表の件数、成果発表会の開催回数・参加者数、国際的なシンポジウム等の開催件数・参画件数</li> </ul>
	(3) 波及効果・資金確保状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>波及効果が現れたか。</li> <li>自治体、民間企業や金融機関等からの活動資金が確保されたか。</li> <li><b>【参考指標】</b> 掲載又は放送件数（新聞・テレビ・雑誌）、受賞件数、成果が他の事業に採択された件数、外部の団体の来訪件数、海外機関との連携数、地域資金獲得状況</li> </ul>

5 各 支 援 メ ニ ュ ー	(1) 地域イノベーション戦略の中核を担う研究者の集積	<ul style="list-style-type: none"> <li>各研究開発テーマについて、目標を達成できたか。</li> <li>研究テーマ間の連携やその相乗効果等により、地域の特性を活かした優位性のある技術シーズが創出されたか。</li> </ul> <b>【参考指標】</b> 研究テーマリスト、提案地域が当初設定した目標及び達成状況、招へい研究者との共同研究状況
	(2) 地域イノベーション戦略実現のための人材育成プログラムの開発及び実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>人材育成プログラムについて、目標を達成したか。</li> <li>大学等研究機関、産業界及び自治体が密接に協力しながら取り組んだか。</li> </ul> <b>【参考指標】</b> 人材育成プログラム実施状況、受講者アンケートの内容
	(3) 大学等の知のネットワークの構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学等研究機関におけるコンソーシアム等の知のネットワークが構築されたか。</li> <li>コーディネータは、大学等の技術シーズの発掘や企業等と大学等研究機関とのマッチング促進など、その果たすべき役割を担ったか。</li> </ul> <b>【参考指標】</b> ネットワーク体制、企業等訪問状況、企業等と大学等研究機関とのマッチング状況
	(4) 地域の大学等研究機関での研究設備・機器等の共用化	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業利用ニーズを適切に把握し、利用促進のための取組が行われたか。</li> <li>研究設備・機器等について、中小企業等からの利用が積極的に行われたか。</li> </ul> <b>【参考指標】</b> 共用化対象の研究設備・機器等、研究設備・機器等の共用化体制・利用状況

※研究機能・産業集積高度化地域

地域の特性を生かしたイノベーション活動が期待でき、将来的には海外市場を獲得できるポテンシャルを有する地域